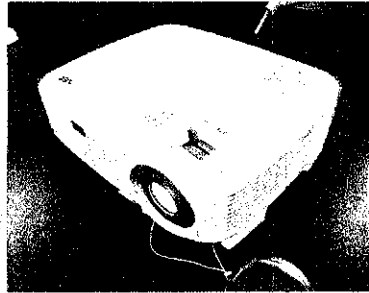
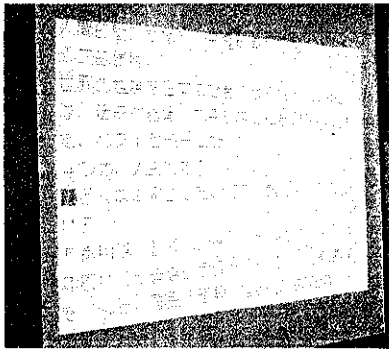


東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2007年度
Bコース（備品購入応援コース） 助成事業報告書

19年11月27日

団体名（ふりがな）	パソコン要約筆記 おうやくひき もじ みやこ せんぱい
購入物品名	液晶プロジェクター
連絡担当者お名前（ふりがな）	事務局長 やまぐち やすこ 山 口 泰子
助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。 （購入した物品の写真は必ず添付してください。）	
<p>難聴、中途失聴、高齢による難聴等の聴覚障害者にとって、耳の代わりとなる。パソコン要約筆記は必要不可欠なものとなっている。中でも大画面に鮮明に映し出す電子情報保障は重要である。</p> <p>今回の助成金により購入した、プロジェクターは鮮明度が高く（従来使用1700ルーメン→今回2500ルーメン）利用者からは見やすいとの声があった。</p> <p>又軽量小型、技術向上により設置時間の短縮と全ての会員に操作可能となったことは大きな成果である。</p> <p>重復した依頼に不安なく両方とも受託出来、会員の喜びと共に意識の向上にもつながっている。今後は、画面の鮮明な今回購入のプロジェクターを中心に活動して参りたい。</p>	

助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。(続き)



今回の物品購入によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか

- 1) 従来は旧型プロジェクター一台のみ、所有していたため、心ならずも断捨身事があった。今回の助成により、より多くの受託が可能となった。
実際に12月9日(日)には、重複した依頼に不安なく、引き受けられた事は大きな成果である。
- 2) 現在のプロジェクターは古い型(1700L-X2)で、かなりの重量と大きさがあり、設置に難儀した。
今回助成した新しいプロジェクターは、小型、軽量、鮮度(2500L-X2)も良く、利用者、支援者双方に、大きな効果の期待出来る事となりそうだ。

今回購入した物品を活用して、今後、事業をどのように展開していきますか
また、その際に必要なものは何ですか

- 1) 聴覚障害者にとって情報保障が必要な場面は、予想以上に多く存在します。我々のパソコン要約筆談の活動に、今回のプロジェクトを活用し、一件でも多くの依頼を受託し、地域福祉の一翼を担いたい。
- 2) 我々の技術向上にも活用し、今後増加する高齢者が地域で普通に暮らす、フォーマライゼーション実現のため、会議やイベント等の依頼にも、可能な限り、対応して参りたい。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	100,000	
会員会費より拠出	18,229	
合計	118,229	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
液晶プロジェクト	116,729	日本電気(株)VT695J
手数料	1,500	
合計	118,229	

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

今回の助成金に、深く感謝申し上げます。

今回のプロジェクトは、冰でエタとなり、重慶した依頼に対しても、対応出来る事となりました。

今後は、会員の技術向上に務め、出来る限りの会議、会合等の情報保障に活用して参ります。